「2013年漁業センサス」の実施について

茨城県企画部統計課商工農林グループ

1　調査の目的

2013年漁業センサス（農林水産省所管。基幹統計。以下「調査」という。）は，我が国漁業の生産構造，就業構造及び漁村，水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに，我が国の水産行政の推進に必要な基礎資料を作成し提供することを目的として実施します。

2　調査の体系

この調査は，「海面漁業調査」，「内水面漁業調査」及び「流通加工調査」の３つの調査で構成されており，さらに海面漁業調査は，漁業経営体調査，漁業管理組織調査及び海面漁業地域調査の３つの調査で構成されています。

2013年漁業センサス
- 海面漁業調査
  - 漁業経営体調査
  - 漁業管理組織調査
  - 海面漁業地域調査
- 内水面漁業調査
- 流通加工調査

3　調査の時期

海面漁業調査及び内水面漁業調査は平成25年11月１日現在で実施します。

流通加工調査は平成26年１月１日現在で実施します。

4　調査結果の公表

調査の全国結果については，その概要を平成26年８月31日までに公表し，その詳細については逐次，刊行物，インターネット等により公表します。

●海面漁業調査（漁業経営体調査）

⑴　調査系統

農林水産省－都道府県－市町村－統計調査員－調査客体

⑵　調査方法

自計申告調査

調査員が調査客体に調査票を配布し，調査客体が自ら調査票に記入する調査方法。但し，調査客体からの申し出があれば統計調査員の面接聞き取りの調査方法により行います。

10月下旬から11月上旬にかけて，知事が任命した統計調査員が訪問して調査票への記入をお願いします。

⑶　調査対象

沿海市町村にある海面漁業に係る漁業経営体

⑷　調査事項

漁業種類，使用漁船，養殖施設その他漁業経営体の経営の状況

個人漁業経営体の世帯の状態及び世帯員の漁業就業日数　等

■統計の窓

●前回までの漁業センサスの主な調査結果について

本県の漁業経営体は減少が続いています。平成20年には479経営体で，昭和43年と比較すると半分以下となっており，ここ10年の減少率も徐々に高くなっています（図１）。

また，漁業経営体を市町村別に見ると，日立市が最も多く，次いで大洗町，北茨城市の順となっています（図２）。

漁業就業者数は平成20年で1,551人となっており，平成15年よりは少し増加しています。また，年齢層別では60歳以上の割合が高くなっています（図３）。

次に，全国における本県の順位について見てみると，平成20年には海面漁業経営体数は全国第37位，漁業就業者数は同第34位，漁船隻数は同第38位（いずれも沿海39都道府県のうち）と，なっています（表１）。

図１ 茨城県の漁業経営体数と増減率の推移

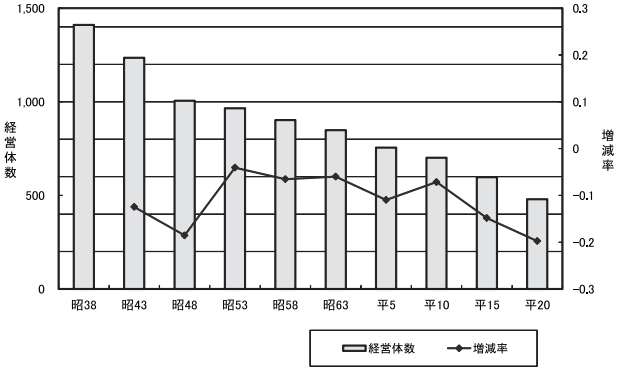


図２ 市町村別経営体数の推移

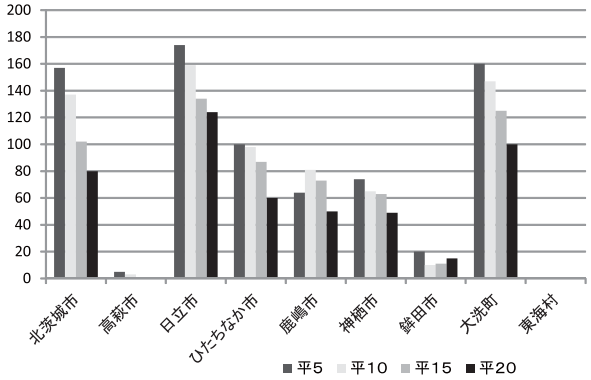


図3 年齢別漁業就業者の割合の推移

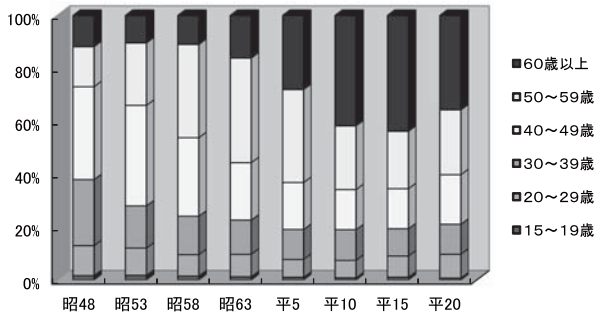


表１ 主要項目における本県の順位

		平成10年	平成15年	平成20年
海面漁業経営体		701	597	479
	全国順位	37	37	37
漁業就業者数		1,645	1,427	1,551
	全国順位	34	35	34
漁船隻数		821	687	620
	全国順位	38	39	38

※ 沿海都道府県数:39

●お問い合わせ先●
茨城県企画部統計課　商工農林グループ
電話：０２９－３０１－２６５６（ダイヤルイン）

漁業センサス

平成25年度茨城県統計グラフコンクール結果

統計知識の普及向上を図るとともに，次代を担う児童・生徒を中心に早い段階から統計に慣れ親しんでもらうことを目的に「第64回茨城県統計グラフコンクール」が茨城県，茨城県教育委員会及び茨城県統計協会の主催，並びに茨城新聞社の後援により６部門に分けて行われ，4,128点（9,670人）ものたくさんの応募をいただきました。

作品の審査は９月18日（水）に，茨城県庁で行われ，県知事賞６点，県議会議長賞５点，県教育長賞10点，茨城新聞社長賞５点など計101点が入選しました。また，入選作品のうち32点を全国コンクールに出品し，審査の結果，1点の作品が部門別の第１位である特選に選ばれたのをはじめ，4点が入選一席，７点が入選，4点が佳作に入賞しました。また，本県は応募点数が20年連続で日本一，14年連続特選受賞という輝かしい成績を収めることができました。

特選受賞者は平成25年11月13日（水）に国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催される全国統計大会で表彰される予定です。また，県コンクールの上位入賞者は平成26年１月22日（水）に茨城県庁において開催される「平成25年度統計功労者表彰式」で表彰される予定となっております。

平成25年度茨城県統計グラフコンクールの応募・入賞状況は次のとおりです。

平成25年度茨城県統計グラフコンクール応募・入賞状況

応募状況

部別	第１部	第２部	第３部	第４部	第５部	パソコン統計グラフの部	計
応募作品数	510	1,236	1,449	358	1	（小） 408 （中～） 166	4,128
応募人数	993	2,700	3,591	981	1	（小） 968 （中～） 436	9,670

入賞状況

賞名	作品点数	作成者数	全国コンクール出品点数	全国コンクール入賞点数			
				（特選）	（入選一席）	（入選）	（佳作）
県知事賞	6	18	6	1	1	2	－
県議会議長賞	5	16	5	－	2	2	－
県教育長賞	10	30	10	－	1	2	1
茨城新聞社賞	5	10	5	－	－	1	－
県統計協会総裁賞	25	54	6	－	－	－	3
県統計協会会長賞	50	105	－	－	－	－	－
合計	101	233	32	1	4	7	4

■茨城県知事賞

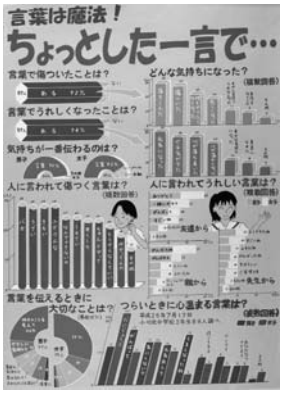
〈第１部〉
五霞町立
五霞東小学校
１年
青柳　大貴
岡野　泉希
折原　希歩
鈴木　苺
園田　美波

※全国コンクール
「特選」受賞

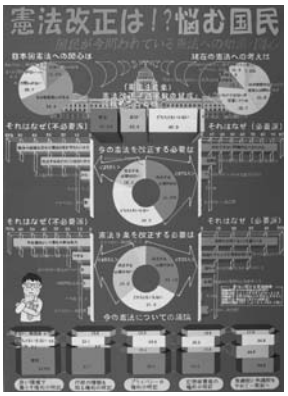
〈第２部〉
日立市立
坂本小学校
３年
黒澤　凜

※全全国コンクール
「入選」受賞

〈第３部〉
結城市立
結城西小学校
５年
宍戸　承太郎
２年
宍戸　つぶら



〈第４部〉
小美玉市立
小川北中学校
２年
重藤　緋那
長澤　花奈
重藤　鈴音
富田　莉乃
櫻井　結愛



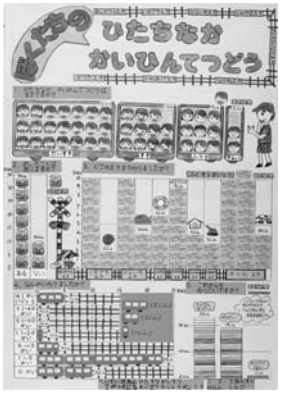
〈第５部〉
一般
倉田　廣之

※全国コンクール
「入選一席」受賞

〈パソコンの部〉
八千代町立
東中学校
２年
鈴木　翔也
中澤　正人
長勢　翔真
１年
小山　友也

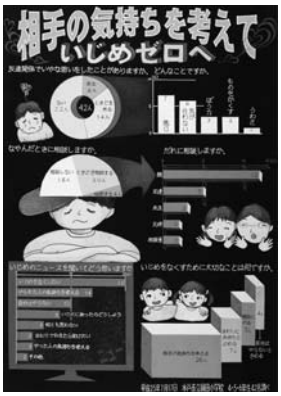
※全国コンクール
「入選」受賞

■茨城県議会議長賞



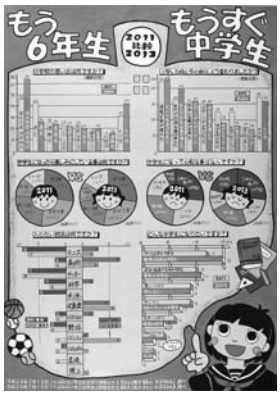
〈第１部〉
ひたちなか市立
阿字ケ浦小学校
１年
井場　心月
岡部　滉大
平野　雄大

※全国コンクール
「入選一席」受賞



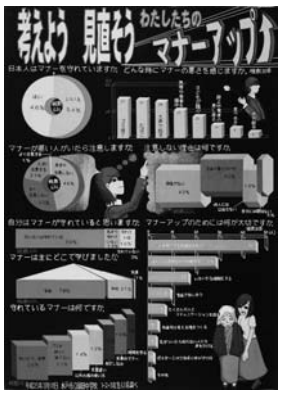
〈第２部〉
水戸市立
国田小学校
４年
川口　遥
照沼　凜大郎
横田　凌雲

※全国コンクール
「入選」受賞



〈第３部〉
つくばみらい市立
谷井田小学校
６年
海老原　舞子

※全国コンクール
「入選」受賞

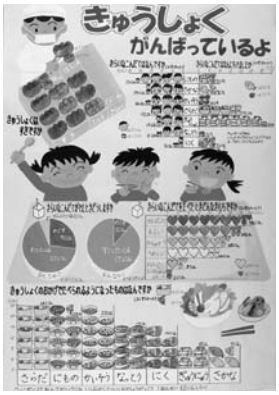


〈第４部〉
水戸市立
国田中学校
２年
川名　結女
木村　優花
田中　瑠風
丹　なつみ
１年
小林　蓮

〈パソコンの部〉
八千代町立
東中学校
３年
赤塚　瑞樹
倉持　悠
高野　拓実
関　愛海

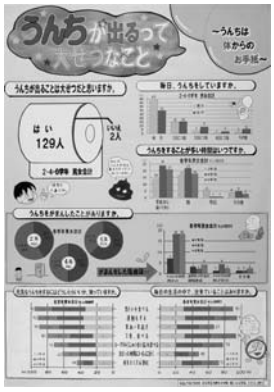
※全国コンクール
「入選一席」受賞

■茨城県教育委員会教育長賞



〈第１部〉
石岡市立
石岡小学校
１年
磯山　碧
磯山　遥
井上　隆太

〈第１部〉
かすみがうら市立
志士庫小学校
２年
大和田　櫂生
櫻井　麗來
髙木　彰也
宮下　寧々子



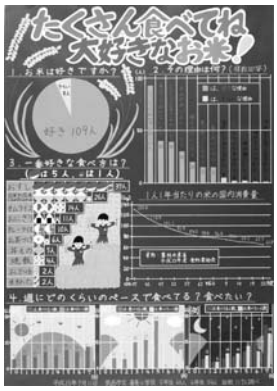
〈第２部〉
日立市立
河原子小学校
４年
島田　晴紀
鈴木　教弘
２年
根岸　浩志朗
１年
鈴木　隆生

※全国コンクール
「入選一席」受賞

〈第２部〉
守谷市立
大野小学校
４年
廣瀬　綾華
本橋　みなみ
石塚　若葉
３年
横島　萌

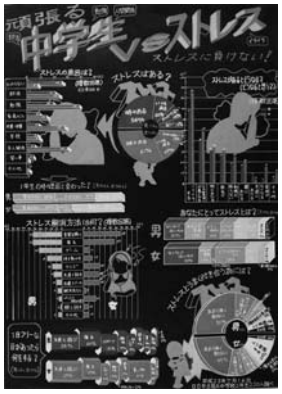
※全国コンクール
「佳作」受賞

■統計の窓



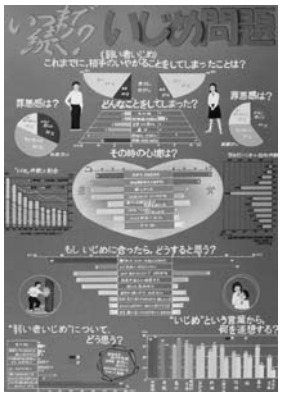
〈第３部〉
筑西市立
養蚕小学校
５年
山田　佳輝

〈第３部〉
日立市立
宮田小学校
６年
富田　あかり



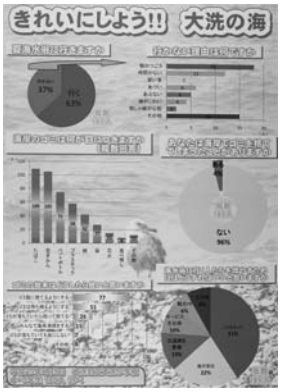
〈第４部〉
日立市立
泉丘中学校
２年
山嵜　莉子

※全国コンクール
「入選」受賞



〈第４部〉
常総市立
石下中学校
２年
上野　姫果
関　　桃佳
木村　桃花
平間　万尋
中山　優華

〈パソコンの部〉
八千代町立
東中学校
２年
松永　桂奈
太田　佳奈
植竹　咲月
野村　柚花
倉持　阿耶



〈パソコンの部〉
大洗町立
大洗小学校
５年
金子　拓海
坂本　雄大朗

※全国コンクール
「入選」受賞

◎各部門の区分は以下のとおりです
第１部……小学校１・２年生の児童
第２部……小学校３・４年生の児童
第３部……小学校５・６年生の児童
第４部……中学校（注１）の生徒
第５部……高等学校（注２）以上の生徒・学生及び一般
パソコン統計グラフの部…小学校の児童以上

（注１）中等教育学校の前期課程を含む。
（注２）中等教育学校の後期課程を含む。